

## 歩いてみよう京街道

# 特別史跡 百済寺跡と枚方宿

担当 3 班



三十石船とくらわんか船

### 百済寺・百済王神社

四世紀前半から六世紀後半の百済王国は日本の友好国でしたが663年日本の救援活動むなしく唐と新羅の連合軍に敗れ滅亡した。最後の百済国王の王子(禪広ぜんこう)がわが国に亡命してきたので大和朝廷は百済王氏を名のらせて難波に居住地を与え一族を上級官僚として重用した。749年陸奥守であった百済王敬福(くだらのこにしききょうふく)は陸奥国から産出した黄金九百両を大仏の塗金用に献上し聖武天皇は大いに喜ばれ翌年従三位を与え宮内卿・河内守に任じた。これを機に百済王氏一族は難波の居住地を離れ、ここ河内国交野郡中宮の地に住まいを移し氏寺と氏神を建立した。百済寺は160平方Mにおよぶ大伽藍で、その周辺は一族の邸宅や商人たちで立派な市街地を形成した。昭和27年国の特別史跡に指定された。

### 枚方宿

徳川家康は関ヶ原の戦いで覇権を握った翌年(1601)から江戸を起点とした主要な街道設置を始めた。幕府は豊臣氏の滅亡(1615)で大阪城を手中におさめると大阪城代を設け江戸と西国の支配の根拠地とし、東海道を大阪まで延長することが必要になり、1619年江戸・大阪高麗橋間の東海道五十七次を制定した。最初の江戸日本橋と京都三条大橋を結ぶ東海道五十三次は1624年最後の庄野宿(三重)で完了した。枚方宿は守口宿と同時期の1616年設置と考えられており宿場には大名が宿泊する本陣や脇本陣、一般旅行者用の旅籠や木賃宿などがあった。問屋場は人馬を常備し幕府公用の荷物・書状の継送を行う継飛脚の業務も行った。

1 品川 → 45 庄野 → 53 大津 → 54 伏見 → 55 淀 → 56 枚方 → 57 守口

実施日 2017年12月22日(金)

集合場所 京阪枚方公園西改札口前広場 9時45分集合(京都方面に向かって左側改札口前の広

出発時刻 10時00分

行程 5班に分け午前・午後とも枚方観光ボランティアガイドが案内します。

10:00枚方公園駅(ﾄﾞﾚ)⇒淀川洪水碑⇒10:40鍵屋資料館(ﾄﾞﾚ)⇒船番所跡⇒御茶屋御殿跡⇒

11:55意賀美神社・昼食(ﾄﾞﾚ)⇒田中家鑄造工場跡⇒13:20本陣跡(ﾄﾞﾚ)⇒岡本町公園⇒

14:05岡東中央公園・休憩(ﾄﾞﾚ)⇒禁野橋⇒14:40百済寺跡・百済王神社(ﾄﾞﾚ)※15:20頃現地解散

⇒(15:30頃京阪宮之阪駅、15:40頃京阪枚方駅まで引率) 約5km

持物 昼食、飲み物、敷物、雨具、観察用具、筆記用具、ハイキングスタイル

費用負担 鍵屋資料館、ガイド料、神社謝礼 合計500円の負担をお願いします。(当日徴集)

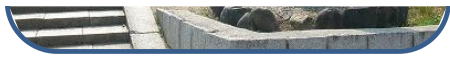
コースの特徴 出発地 枚方公園駅から解散地 百済寺跡・百済王神社経由、京阪宮之阪駅・枚方駅まで

平坦地ですが意賀美神社で20段(上り)、田中家鑄造工場跡で50段(下り)

百済王神社で40段(下り)の階段があります。車の往来が多い市街地を歩くので道幅の狭い京街道はもちろん、国道の歩道を歩く時でも2列の整列縦隊をお願いします。

実施可否 前日午後5時の枚方市の天気予報で翌日降水確率が午前・午後いずれかで50%以上の場合は中止とし、午後8時までに全体メールでお知らせします。





百済寺跡



西見付から見た京街道街並み



鍵屋資料館



